

令和7年度 地域サポート一報告書



令和8年3月
東大和市
市民生活課

目次

1	はじめに	1
2	各サポーターからの報告	
(1)	清水自治会	2
(2)	第二光ヶ丘自治会	5
(3)	梅の原住宅自治会	7
(4)	東大和第一光ヶ丘自治会	9
(5)	蔵敷自治会	11

※各サポーターの所属課名は令和8年3月31日時点のものです。

はじめに

東大和市には、「地域サポーター」という全国的にも注目に値する制度があります。同制度は、市職員が主体的に活動し、①地域との顔つなぎをすること、②地域の考えや生活などの地域の実情を肌で感じること、③職員の人材育成の実現、④自治会活動の一助とすること、を目的としています。

同制度は、市職員が自治会のイベントや活動に参画し、地域住民とともに地域課題について考え、共に行動する取組です。これは単なる行政支援ではなく、「協働・共創」を実践する先進的な挑戦であり、他自治体には見られない特長的な取組といえます。

東大和市では、市職員が自治会活動に積極的に関わり、地域住民とともに持続的な地域づくりに取り組んでいます。この活動の大きな意義は、市職員と地域住民が「同じ目線」に立ち、同じ未来を見据えながら地域づくりを進めている点にあります。

市職員が現場に入り、地域住民の声を直接聞き、得られた知見を施策へと反映していく姿勢は、確かな信頼関係の構築につながります。その結果、地域課題の把握はより具体的かつ実践的なものとなり、実効性の高い施策へと結実します。

さらに、市職員が地域の一員として活動することは、行政の透明性を高めることにもつながります。透明性は、東大和市と地域住民との信頼関係を支える土台です。「顔の見える行政」の実現により、相談や協力がしやすい環境が生まれ、地域と行政の距離は着実に縮まっています。

このような協働・共創の積み重ねは、東大和市全体の結束力を高め、持続可能なまちづくりの確かな基盤を築いています。

一般に、行政が自治会に対して行う支援は、支援金や助成金の提供、防災倉庫の設置、イベント時のテント・机・音響機器等の貸出などが中心です。東大和市は、これらの従来型の支援を丁寧に実施したうえで、さらに一步踏み込み、協働・共創を実践的に推進する仕組みとして「地域サポーター」制度を創設しました。

少子高齢化や担い手不足といった全国共通の課題に直面する今日において、東大和市の実践は極めて先進的であり、高く評価されるべき内容です。市職員が地域住民とともに汗を流し、同じ課題に向き合う姿勢は、多くの自治体に大きな示唆を与えると考えます。

本取組は、今後の自治体経営の新たなモデルとなり得る可能性を秘めています。他自治体においても、ぜひ参考にされるべき優れた実践例です。行政と地域が真に協働・共創する姿を体現した、誇るべき先進的な取組であると確信します。

具体的な活動の実践については、本報告書に収録された各地域サポーターの報告をご覧ください。清水自治会、第二光ヶ丘自治会、梅の原住宅自治会、東大和第一光ヶ丘自治会、蔵敷自治会において、市職員と地域住民が同じ目標を見据え、一步一步着実に前進していく姿が記されています。その歩みは、東大和市の未来を構築し、次につながる希望の活動といえるでしょう。

関東学院大学 法学部地域創生学科
教授 牧瀬 稔

2 各サポーターからの報告

(1) 清水自治会

サポーター	健康推進課 幸村 有紀
	健康推進課 石井 英幸

1 活動内容	<p>==日程== ==内容==</p> <p>7月23日・・・役員顔合わせ 8月17日・・・役員定例会 9月13日・・・清水秋祭り（1日目） 9月14日・・・清水秋祭り（2日目） 9月28日・・・役員定例会 10月19日・・・役員定例会 11月 9日・・・役員定例会 11月30日・・・防災フェスタ 12月 7日・・・役員定例会 12月27日・・・歳末パトロール（1日目） 12月28日・・・歳末パトロール（2日目） 1月18日・・・役員定例会 2月 8日・・・役員定例会 2月27日・・・餅つき大会（備品搬入） 2月28日・・・餅つき大会（前日準備） 3月 1日・・・餅つき大会（当日） 3月 3日・・・餅つき大会（備品） 3月15日・・・役員定例会（備品搬出） 3月21日・・・役員臨時定例会（時期役員選出）</p>	
	2 実施風景 (写真)	<p>(清水秋祭り①)</p> 

2 実施風景
(写真)

(防災フェスタ①)



(防災フェスタ②)



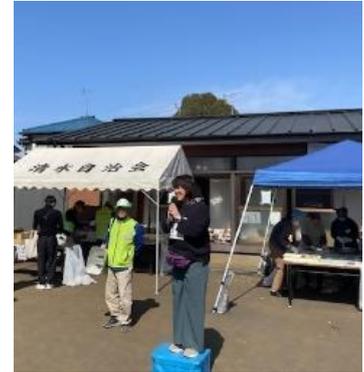
(歳末パトロール①)



(歳末パトロール②)



(餅つき大会①)



(餅つき大会②)



(餅つき大会③)



(餅つき大会④)



3 自治会員 や行事参加者 からの声	歳末パトロールや餅つき大会では、子ども連れの家族の参加が多く、楽しいイベントとの声をいただいた。
4 各自治会 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会員の減少 ○財源（会員費）の減少 ○イベント等の規模縮小 ○活動支援に関連する補助金申請等、情報の収集 ○イベント運営に係る人手不足 ○自治会員のイベント等への参加拡大 ○役員の高齢化、後継者が見つからない ○役員の業務負担が大きい（会則：役員数の見直し等）
5 地域サポ ーターの感想 とまとめ	<p><幸村> イベントは、参加者が多く地域住民に広く認識されていると感じたが、自治会の活動は若い世代には知られていなかったり、毎月の例会などから加入に足踏みをする人がいると感じた。</p> <p>自治会が組織されその力が最大限に発揮されるのは、防災面や災害時であると思うので、地域住民に理解いただけるよう市でも啓発できると良い。</p> <p><石井> 地域の人と繋がることができる大切なコミュニティであることをサポーターとして参加することで実感できた。</p> <p>地域の人とのコミュニティのため、様々なイベントを開催しているが、自治会員の増加（自治会費増）に繋がっておらず、事業縮小を検討するほど財源面が厳しい状態であった。市から支給する補助金の条件見直し（世帯数だけではなく活動内容も考慮する等）も必要ではないかと感じた。</p>
6 その他	<p>精力的に活動している清水自治会です。</p> <p>イベント等で人手が足りないと感じましたので、今後も地域活性化の一環として、サポーターの協力が必要と感じました。</p> <p>アットホームな雰囲気です。職員の方、是非ご参加を！！</p>

(2) 第二光ヶ丘自治会

サポーター	都市基盤課 梶野 宣人 課税課 竹内 雅貴
-------	--------------------------

1 活動内容	<p>令和7年9月：自治会定例会参加 自治会の抱えている問題点や来月予定している行事の打ち合わせを行った。</p> <p>令和7年10月：ハロウィンパレードの子供見守り 仮装した子供たちが地域の方々の家庭を訪ねる際に安全を考慮し交通誘導を実施した。</p> <p>令和7年11月：災害時を想定した炊き出し及び出店準備 お米を七輪で炊飯し、災害用の支給食品をみんなで試食をした。また、子供たちを楽しませる出店をつくり地域の方々との交流を行った。</p>	
2 実施風景 (写真)	(パレードの様子)	(パレードの様子)
	(パレードの様子)	(炊き出しの様子)

	<p>(炊き出しの様子)</p> 	<p>(出店の様子)</p> 
<p>3 自治会員 や行事参加者 からの声</p>	<p>市役所の職員に手伝ってもらい、子どもたちを見守る中で人手が増え、大変助かりましたと言って頂けました。</p>	
<p>4 各自治会 の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの数の減少 • 行事予算の減少 • 自治会員の高齢化 • 自治会加入率の低下 • 若年層会員の減少 	
<p>5 地域サポ ーターの感想 とまとめ</p>	<p>今回私たちは、自治会の近所をハロウィンパレードをするにあたり交通誘導と災害時の炊き出しイベントの出店準備やお米炊飯を担当いたしました。</p> <p>自治会員の方々や地域の子供たちとイベントの成功に向けて一致団結し地域を盛り上げていこうといった活気ある活動に参加でき、とても刺激になり地域の皆様との交流もでき大変貴重な経験をさせて頂きました。</p> <p>自治会では様々な課題を抱えていることを活動に参加し、体感することができた。今回は子供向けのイベントであり、多くの子供や保護者が参加していると感じた。保護者同士の交流や意見交換など地域におけるコミュニティを求める声も少なくないと思った。</p>	
<p>6 その他</p>	<p>今後もこのような地域の方々と関われるイベントに市の職員が積極的に参加し、地域の問題点や行事の改善に係わり、地域のことを考えることは大事であると感じた。</p>	

(3) 梅の原住宅自治会

サポーター	市民生活課 富田 二郎 下水道課 河西 輝久
-------	---------------------------

1 活動内容	<p>① 役員会（令和7年9月7日） 自治会の構成や開催予定のイベントについて説明を受けた。</p> <p>② 芋掘り（令和7年10月19日） 毎年実施しているイベントであり、平均参加者数は60名前後とのこと。 今回は、芋掘り、参加者の誘導、掘った芋の運搬や仕分け等を行った。</p> <p>③ ハロウィン（令和7年11月8日） 自治会として、初めて実施したイベントであり、参加者数は40名前後とのこと。 自治会員の家でお菓子をもらうため、こどもたちの交通誘導や関係者へのお声かけ等を行った。</p> <p>④ サポーター活動を通じて 自治会員の年齢層は様々であったが、年齢に関係なく大人から子供まで、イベントを楽しんでいた様子であった。</p>	
2 実施風景 (写真)	(芋掘り)	(ハロウィン)
		
3 自治会員 や行事参加者 からの声	<p>サポーターとしての活動は、補助的なものが多かったものの、会員の皆様からは、より安全にイベントを開催することができた等のお声をいただいた。</p>	

<p>4 各自治会の課題</p>	<p>役員会が適宜開催されているとともに、会の進行も適切であったことから、自治会としてまとまりがあったため、大きな課題等はないと考えられる。</p> <p>ただし、自治会員の高齢化は進んでいるため、今後、世代交代等が必要になると考えられる。（若年層の取りまとめ役が必要）</p>
<p>5 地域サポーターの感想とまとめ</p>	<p>今回、地域サポーターとして自治会活動の補助に携わらせていただき、普段あまり接点のない幅広い世代の方と交流ができ、地域の温かさを感じ取ることができました。また、活動の裏側を知ることで、自治会への愛着が一層深まりました。活動を通じて、改めて地域の高齢化や若い世代への活動の参加等の現状課題を知ることができ、非常に有意義な活動になりました。今後も、若い世代の市民が自治会活動に参加しやすい仕組みづくりを整備し、活気のあるまちづくりに少しでも貢献できるように関わっていきたいです。</p>
<p>6 その他</p>	

(4) 東大和第一光ヶ丘自治会

サポーター	子育て支援課 金子 凌佑 都市基盤課 末吉 一帆
-------	-----------------------------

1 活動内容	<p>定例役員会および第18回光が丘夏祭りに参加した。</p> <p><定例役員会> 毎月第3日曜日の午前10時から第一光が丘集会所で開催。 主な内容は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部からの活動報告 ・イベント実施に向けた進捗状況の共有 ・自治会が抱える課題の整理および対応策の検討 <p>また、地域サポーターとして参加する中で、課題への対応策について意見を求められる場面や、市の事業と自治会活動との連携可能性について意見交換を行う場面があった。</p> <p><第18回光が丘夏祭り> 令和7年8月30日(土)に第一光が丘公園で開催。 当日は運営スタッフの一員として従事するとともに、小・中学生のボランティアスタッフへの補助を行った。</p>
2 実施風景(写真)	<p>(役員会)</p>  <p>(第18回光が丘夏祭り)</p> 

3 自治会 員や行事参 加者からの 声	自治会員および行事参加者からは、若手自治会員の不足、会員数の減少、活動への参加意欲の低下、イベント開催時に協力する団体の不足などが課題として挙げられた。
4 各自治 会の課題	第一光が丘自治会における主な課題として、若手自治会員の不足、会員の高齢化、活動に対する意識の低下、協力団体の不足が挙げられる。
5 地域サ ポーターの 感想とまと め	<p>主に、自治会の役員会に参加し、役員の方たちは非常に意欲的で、地域を盛り上げていきたいという意思を感じたが、会員世帯数の減少かつ高齢化により、役員の負担も大きいことから、自治会そのものの衰退を感じた。</p> <p>地域のコミュニティ形成という点で、自治会は非常に重要な役割を担っていることから、市も介入して、自治会に加入する意味や、有益性をPRして若い世代（特に子育て世帯）の加入を伸ばしていく必要があると感じた。</p>
6 その他	

(5) 蔵敷自治会

サポーター	地域福祉課	遠藤 治直
	地域福祉課	笠原 歩
	保育課	上原 淳

1 活動内容	<p>【納涼祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年8月9日（土）に開催された蔵敷自治会納涼祭及び、10日（日）の片づけ作業に参加した。 午前中に集合しテントの設営、机イスやスピーカの設置後、午後再度集合し、開会の16時から閉会の21時までは巡回やゴミの分別等を手伝った。 子ども太鼓や花火などの子ども向けのプログラムが用意されており、非常に活気のある納涼祭となった印象である。 また、翌日は主にテントの解体と机やイスを倉庫へ戻す作業を手伝った。 	
2 実施風景 (写真)	<p>(納涼祭①)</p> 	<p>(納涼祭②)</p> 
	<p>(納涼祭③ (花火))</p> 	<p>(納涼祭④ (盆踊り))</p> 
3 自治会員 や行事参加者 からの声	<ul style="list-style-type: none"> 納涼祭について手伝っていただき大変助かった。今後も何かあれば引き続き協力をお願いしたい、等のお声をいただいた。 	
4 各自治会 の課題	<ul style="list-style-type: none"> 設営準備は単純な力仕事が多く、自治会の役員の高齢化が進むと運営が難しくなることが見込まれる。 若い世代を中心にいかに自治会の活動に興味を持ってもらうのか、どうしたら加入率をあげられるのかという点が課題であると感じた。 	

5 地域サポーターの感想とまとめ	•もともと行事が少ない自治会だったため、地域サポーターとして関わることができたのが実質納涼祭のみだった点は残念である一方、役員の定例会をはじめ、納涼祭の運営に携われたことについては、自治会の現状を知ることができる貴重な経験だったと思っている。
6 その他	

編集・発行 東大和市 市民生活部 市民生活課 市民協働・消費係
東大和市中心3丁目930番地
電話042(563)2111 内線1712、1715